

青少年の森公園を守れ

「サッカースタジアム」計画を問う

9月1日の市議会本会議一般質問で私は、県営鈴鹿の森公園で計画されている「パークPFI」「サッカースタジアム」について質問しました。「パークPFI」とは、公園内に飲食店や売店などの民間施設を設置できるようにするもの（下図の「ロードサイドエリア」）で、公園総面積の12%（5ha）まで建ぺい率が緩和されます。

もう一つの「サッカースタジアム」は、8月2日に発表された計画（下図の「スタジアム」5ha）で、（株）アンリミテッドが公園内に建設する予定です。こちらは「公園施設」なので建ぺい率にはカウントされません。両計画を合わせると、10haもの森林が伐採されることになってしまいます。

鈴鹿市が県から土地を借りて、無料で又貸しする

このスタジアム建設に、鈴鹿市は費用は1円も出ませんが、公園用地を県から無料で借りて、アンリミテッドに無料で「又貸し」という役割を果たし、アンリミテッドは用地費タダで公園用地を使えるという話です。



青少年の森は鈴鹿市の「重要生態系地域」に指定されている自然の宝庫

私は2008年に鈴鹿市が出版した「鈴鹿市の自然・鈴鹿市自然環境調査報告書」を紹介しました。この冊子は70人もの専門家が3年かけて調査した画



芝生広場より南を臨む。奥の森が伐採される予定

期的な報告書で、その中で青少年の森公園は、「特に生物相の構成が多様であるか、生息環境として重要」と認められる「重要生態系地域」として選定されています。スタジアム計画に当たって、鈴鹿市としてどれほど検討したのかを問いました。市答弁では、アンリミテッドに対して土地の改変を極力抑えてもらう、森林伐採を最小限に抑えるなど、自然環境への配慮を求めていると答えるだけでした。

利用者・市民は何も知らされていない

この春から夏にかけて、今回の事業計画があることを知った市民、公園の利用者の皆さん、自然保護団体の関係者などから、大事な自然環境にどれほどの影響があるのか、利用者や関係者にきちんとした説明もないまま進められるのだろうか、との声が多く届いています。

この点を質問しましたが、「アンリミテッドに対して、市民や関係者への丁寧な説明や情報提供を求める」などと、まるで他人事のような答弁。私は末松市長に「市長が当事者として、これまでの経過や自然環境の検討などについて、どうされたのか」説明を求めました。しかし末松市長は「私は当事者ということではなく」「アンリミテッドから鈴鹿市に要望がありましたので」県に対して「要望はさせていただきました。しかしながら運営主体は、あくまでアンリミテッド」、鈴鹿市は「応援をしていくという立場でございます」との答弁。私は「市が県から無料で借りる土地に、スタジアムを建てるためにサッカーチームに又貸しをするという役割を、鈴鹿市が引き受けた」からこの事業ができる、だから「当事者」じゃないか、と市民への的確な説明や態度表明を、市長として行なうことを求めました。

市民への説明に市長も行くと答えた

私の再度の質問に対して末松市長は、「今後もそういった市民の皆さま方の不安につきましては、またご意見や要望につきましては、私どもの鈴鹿市もしっかりと一緒に入る中で連携をしてやってまいりたい、というふうに思っておりますので、今後そういったことにつきましての説明の場が、あるいは意見聴取の場が必要ということであれば、私も一緒にその場に行って説明もさせていただきたい」と答えました。

これはオドロキ！「ふるさと納税」 鈴鹿市財政は1億5千万円の損失

2020年度決算の委員会審議で、かねてから疑問に思っている件を質問しました。いわゆる「ふるさと納税」で、鈴鹿市は得しているのか、損しているのか？担当課は親切に、よく分かる資料を作って説明してくれました。見ると一目瞭然！20年度は全国各地から寄せられた寄付金が、総額2億円もあ

年度	市への寄付金 A	事業の推進費 B	差し引き (A-B)= C	市民税控除額 D	財政の損益 C-D
2016	16,240	9,597	6,643	6,447	196
2017	22,133	13,733	8,400	12,309	▲3,090
2018	13,765	7,616	6,149	17,313	▲11,164
2019	17,449	9,100	8,349	24,127	▲15,778
2020	20,558	10,670	9,888	25,910	▲16,022

りました(A)が、その「返礼品」や事務費で半分が支出(B)されて、実際に使える寄付金は、9888万円(C)となります。これを寄付していただいた

鈴鹿市の「ふるさと納税」(すずか応援寄付金)の推移(単位・万円) 方の希望によって「子育て」「障がい者」「観光」などの予算に振り分けて使ったことになってます。ところが一方で、歳入の決算・個人市民税の中に、鈴鹿市民が他の県市に寄付した分を市民税から控除するという仕組みがあるのです。

20年度には市外への寄付金5億4250万円に見合う市民税控除(D)が総額2億5910万円も！実際は1億5千万円(共同募金など1千万円を除く)もの損失が出ています。スガ首相が作ったと自慢している「ふるさと納税」、実は地方の役に立たない、金持ちに減税してやるだけの「愚策」だったのです。

ずいそう



稲刈り終了！今年は大豊作

盆過ぎの長雨が明けて、やっとコメの取入れが始まるといったらまた飛び飛びの雨、と悩まされましたが、やっと9月13日にわが家の稲刈りが終了しました。雨のおかげで草が良く伸びて、今年毎日草刈りをしてきたかと思くらいに、草刈機を使いました。うちの田は4辺のうち3方が斜面の土手になっ



っているので、大変でしたが、幸い田の中の雑草はほとんど生えず、イネが伸び伸びと育ちました。写真のように、見事な実りの秋を迎えました。

さて問題は、今年の収量はどれほどか？ということですが、面積はちょ

うど1反、鈴鹿平野の良い田とは違うので、8俵もいけば上出来、悪くても7俵は欲しいなと期待しました。それでもちょっと欲を出して、30キロのコメ袋を18枚(9俵分)買って用意しました。

15日朝、玄米になったコメを取りに行ってみたら、何と!!9俵半の19袋、570キロも出来ていました。孫3人も動員して軽トラックに満載、揚々と家に戻り倉庫に入れました。これで向こう1年の主食が確保され、一安心です。

全国のコメ価格は暴落・過剰在庫で営農の危機！

わが家はすべて自家消費なので、コメの価格がいくらになっても影響しませんが、本業の販売農家にとっては、今年の米価下落は重大事態、営農の危機です。主たる原因は、コロナ禍で飲食業の休業・営業自粛による、大幅な需要減少です。コメの相場は、流通の3割以上を占める外食産業の動向で決まるのです。農家は生産費が回収できず、JAなど流通業界はコメを保管する倉庫がひっ迫、もう新米を入れる倉庫が大幅に不足するとのこと。

食糧自給率が37%に落ち込んだ日本で、大幅なコメ余り!!こんないびつになった農業がいま危機に瀕していることを、田んぼで実感しています。